令和 4 年度 沖縄県高等学校新人体育大会
第 67 回 沖縄県高等学校新人バレーボール競技大会
抽選会および代表者会議資料

日時：令和 4 年 11 月 24 日（木）14：00
場所：北中城村立中央公民館（ホール）

1．競技日程および会場

令和 4 年 12 月 10 日（土） 男女 1 回戦
　会場　21 世紀の森体育館 A・B・C・D・E
令和 4 年 12 月 11 日（日） 男女 2・3 回戦
　会場　21 世紀の森体育館 A・B・C・D・E　名護商工高校　F・G　　名護高校　H・I
　　宜野座村総合体育館　J・K・L　　読谷高校　　M・N　　石川高校　O・P
令和 4 年 12 月 12 日（月） 男女準々決勝・決勝リーグ第 1 戦
　会場　21 世紀の森体育館 A・B・C・D
令和 4 年 12 月 13 日（火） 男女決勝リーグ第 2・3 戦
　会場　21 世紀の森体育館 A・B・C・D

2．開館および試合開始時刻

各高校体育館	開館時刻 09：00	試合開始時刻 09：30
宜野座村総合体育館	開館時刻 09：30	試合開始時刻 10：00
21 世紀の森体育館	開館時刻 09：30	試合開始時刻 10：00

3．参加チーム一覧

【男子】 北山　名護　石川　**前原**　具志川　読谷　美来工　コザ　**美工**　球陽　北谷
普天間　宜野湾　**西原**　浦工　陽明　昭薬附　浦添　那工　那国際　興南　首里東
首里　沖工　沖尚　那商　那覇　小禄　那覇西　開邦　南風原　**知念**　**豊見城**
南農　向陽　糸満　宮古　八重農　**八商工**　　男子 39（48）チーム

【女子】 北山　名商工　名護　宜野座　具商　前原　具志川　与勝　読谷　嘉手納　美里
コザ　球陽　北谷　普天間　中商　**西原**　浦商　昭薬附　**浦添**　那国際　興南
首里東　**首里**　沖工　沖尚　那商　**那覇**　**小禄**　那覇西　開邦　南風原　**知念**
豊見城　豊南　向陽　**糸満**　久米島　宮古　実　八重山

女子 41（48）チーム
合計 80（96）チーム

4．シードチーム

（）内は昨年度の数

【男子】 ベスト 4 シード：西原　首里　美工　知念
ベスト 8 シード：八商工　~~豊南~~　豊見城　前原
会場運営シード：名護　読谷　石川（1/8 ゾーン）

【女子】 ベスト 4 シード：首里　西原　知念　小禄
ベスト 8 シード：浦添　那覇　コザ　糸満
会場運営シード：名商工　名護　宜野座　読谷（1/8 ゾーン）

5．抽選手順

① 第 1 および第 2 シードを入れる
② ベスト 4 シードの予備抽選のち位置抽選
③ ベスト 8 シードの予備抽選のち位置抽選
④ 離島チームの位置抽選（初戦での離島チーム同士の対戦を避けるため）
⑤ 会場運営シードのゾーン抽選のち位置抽選
⑥ 南のチームから順に予備抽選のち位置抽選

6．代表者会議

（1）新型コロナウイルス感染症対策について
→ 後日、感染拡大防止に関するガイドラインを、各校への FAX、チーム申込責任者へのメール、MRS を通じたメールおよび高体連 Web サイトへのアップにより周知する。
（2）競技運営上の確認事項について
（3）審判上の確認事項について
（4）総務からの連絡事項について
（5）その他

競技運営上の確認事項

大会競技委員長

1．本大会は、2022 年度公益財団法人日本バレーボール協会 6 人制競技規則および競技要項により実施する。

2．試合はすべて 3 セットマッチとする。準々決勝戦までトーナメント方式で行った後、上位 4 チームによる総当たりの決勝リーグ戦を行う。

3．監督またはコーチは、試合当日 08：30（21 世紀の森および宜野座村総合体育館は 09：00）より各会場にて行われる代表者ミーティングに必ず参加すること。ただし、大会 1 日目の第 4 試合のチームについては、この限りでない。

4．開館および試合開始時刻は、抽選会および代表者会議資料に記載してある通りとする。全試合 60 分設定（試合開始時刻はホイッスル時間）で進行し、それより早く開始することはない。試合の当該チームは、前試合の両チームのコートアウト*および会場の消毒や換気の完了後（試合が連続する場合は、コートアウト完了の 15 分後)、受付係または審判員の指示に従ってコートインし、10 分間（2 日目および 3 日目の第 2 試合は 20 分間）の合同練習後、プロトコールに入る。前試合が早く終了した場合のコートイン時刻は、試合開始時刻の 25 分前とする。

* 高校会場においては、コートアウトおよびコートインをそれぞれ退館および入館とする。

5．大会使用球は、（公財）日本バレーボール協会検定人工皮革カラーボールとする。
男子：ミカサ（V300W）　　女子：モルテン（V5M5000）

6．チームの構成は監督・コーチ・マネージャー各 1 名、選手 14 名以内とし、選手が 13 名以上の場合は、リベロプレーヤーを必ず 2 名含むこと。尚、監督・コーチ・マネージャーの各章は、規定のものを各チームで用意し、明確に判別できる位置に付けること。また、監督・コーチが外部指導者の場合は、登録証も身につけておくこと。

7．選手のエントリーおよびベンチスタッフの変更は、参加申込書原本（2 部）の提出により行い、当該チームの初戦開始 30 分前までに、引率責任者が本部席に提出すること。提出後の変更は一切認めない。

8．「ラインアップシート」は、公式ウォームアップ時にセカンドレフェリーまたはスコアラーに提出すること。

9．引率責任者は、監督・コーチが共に外部指導者の場合、プロトコール時に、主審による所在確認を受けること。

10. 第 1 試合のチームのコート練習についても、他の試合と同様に、コートイン後の 10 分間の合同練習のみとする。

11. 隣のコートで試合が行われている場合の練習はパス程度とする。

12. 公式練習終了 15 分後になってもコートに来ないチームは失格とする。

13. 補助員（記録・点示・ラインジャッジ）は 8 名とし、前試合の負けチームで行う。ただし、大会 1 日目の第 1 試合については、当該コートの第 3 試合のチームで行い、大会 2 日目および 3 日目の第 1 試合については、当該コートの第 2 試合の両チームで行う。また、大会 4 日目については補助役員を配置する。

14. 試合への出場選手以外（監督・コーチ・マネージャー・プレー中でない選手）は、全員がマスクを着用すること。出場する選手の着用していないマスクについては、衛生面に気をつけチームで管理を行うこと。

15. 競技中のハイタッチは、腕のタッチにとどめる。また、タオル、水ボトル、アイシングバッグなどの共用は禁止とし、飲料は、個人で十分な量を準備すること。

16. チームは、コートチェンジの際、ベンチおよびモップも一緒に移動すること。試合終了後には、ベンチおよびモップの柄を消毒すること。

17. 試合間およびセット間は、窓・ドア・カーテンを開放して換気を行う。また、試合中も、プレーおよびジャッジへの影響を考慮した上で、可能な限り換気を行う。

18. ユニフォームとは、ジャージ（シャツ）・ショーツ・ソックスを指す。ジャージ（シャツ）・ショーツは色およびデザインが、ソックスは色および長さが統一されていることとする。また、ジャージ（シャツ）は必ずショーツに入れなければならない。

19. 手袋を着用してのプレーは、原則禁止とする。

20. 太鼓等の応援は、試合進行の妨げにならない限り認める。

審判上の確認事項

大会審判委員長

1．本大会は、2022 年度(公財)日本バレーボール協会 6 人制競技規則による。

2．チームは監督・コーチ・マネージャー各 1 名、選手 14 名以内とし、選手が 13 名以上の場合は、リベロプレーヤーを必ず 2 名含めることとする。

3．リベロは、チームキャプテンにもゲームキャプテンにもなることができる。

4．リベロは、チームの他の選手と、主要な部分の色が異なるユニフォームを着用しなければならない。ユニフォームの色は、チームの他の選手とは明らかに対照的でなければならない。2 人のリベロはチームの他の選手と異なる色で、さらにお互いに異なる色のユニフォームを着用することもできる。

5．試合開始前、監督は選手の名前、番号を記録用紙のチーム選手欄に記入するか、記入されたものを確認した後、サインする。（チームキャプテンの番号を丸で囲み、リベロの番号を記入しサインをする。）また、チームキャプテンはチームを代表してトスを行い、トスの開始前と試合終了後にサインをする。

6．各セットの開始前、監督は、正しく記入されたラインアップシートにサインし、セカンドレフェリーまたはスコアラーに提出する。ラインアップシートが提出されたら、正規の選手交代をせずに、ラインアップを変更することはできない。

7．セット開始前に行うラインアップシートとスターティングプレーヤーの照合の際は、リベロプレーヤーを確認する必要はない。（コートのそばに立つ必要はない。）

8．コート上で円陣を組んで掛け声をかけるケースについては、ラインアップシート確認後は最大限スターティングメンバーの 6 名とリベロ 2 名の計 8 名までとする。

9．タイムアウトを要求できるのは、監督あるいはゲームキャプテンである。その際、ラリー終了後に公式ハンドシグナルで明確に示すこと。

10. チームメンバーによる不法な行為（相手に向かって”ガッツポーズ”などで挑発・威嚇する行為など）に対しては、競技規則第 21 条「不法な行為とその罰則」に則って罰則を適用する。

11. 判定に対する質問は、ゲームキャプテンのみであるので、監督や他の選手からの質問は受けつけない。（判定へのアピール等は警告の対象となります。）

12. 試合の前後は、選手全員がエンドラインに整列し、主審の合図で挨拶~~（握手）~~する。なお、監督とチームキャプテンは、審判員にも挨拶~~（握手）~~する。（アタックラインへの移動はせず、エンドライン上での挨拶とする）

13. 競技中のコートワイピングについては、プレーヤー自身がコートを拭くことを原則とする。（ワイピング用タオルは、チームで余分に準備しておくこと。選手全員がタオルを持つことが望ましい。）

14. 競技中の服装について

アンダーウェア等について（競技要項 p.69 抜粋）

(1) アンダーウェアはユニフォームの袖や裾、首等からはみ出してはならない。ただし、プレーの動作によってユニフォームの下から見えてしまうことは故意に見せるものでない限り制限されない。

(2) 医療を目的としたサポーター類は、プレー上危険である場合や、プレーに有利に働く場合を除いて、規制されない。

(3) 明らかに色が違う腰に帯状にまくサポーター、コルセット類はユニフォームの下に着用しなければならない。

総務からの連絡事項

大会総務委員長

1．参加者全員、服装を正し高校生としてふさわしい身なりと態度を心がけてください。

2．各会場とも、体育館以外の施設へは立入禁止です。また、体育館内では、コート以外でのボールを使った練習は禁止です。

3．置き引き・盗難に注意し、貴重品は各チームで責任をもって管理してください。

4．各会場とも、ごみは各チームで責任を持って持ち帰ってください。

5．**更衣室・ロッカー・シャワールームなどの占有は禁止です**。密を避けるため、更衣室使用の際は人数制限等、各会場の指示に従ってください。

6．体育館は土足厳禁となっています。外履きと内履きの区別をしっかりとしてください。また、玄関の靴を脱ぎ履きするスペースは、靴を置く場所ではありませんので、他の人の出入りに迷惑がかからないよう、玄関に靴を置きっぱなしにせず、チーム関係者は各自で靴袋を用意し、靴の管理をお願いします。

7．入管制限に関しては、後日、沖縄県高体連の Web サイト等に詳細を掲載いたしますので、随時ご確認ください。

8．危険な場所で観戦しないで下さい。感染の際、声を出しての応援はできません。

9．高校生の運転する車両での来場は禁止です。

10. 毎回忘れ物が多数出ます、気をつけてください。

11. 未登録および登録料未納の選手がいる場合、大会当日までに登録・支払いを済ませて、JVA チーム加入選手一覧の差し替えをお願いします。

12. 21 世紀の森体育館に関して、トレーニングルームは一般の利用者がいます。試合前後に、更衣室にチームの荷物を置きっぱなしにしたり、施設を長時間使用したりすることが無いように協力をお願いします。着替え等の際もチームで固まらず、個人個人で速やかに着替えを済ませるようにしてください。